

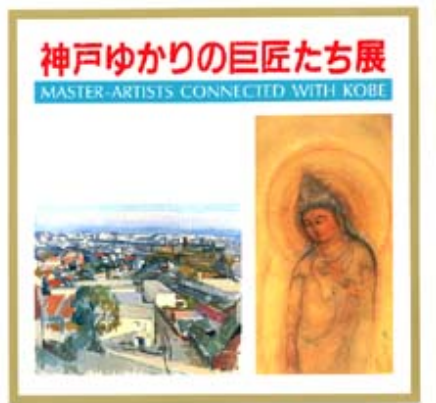
第25回特別展

神戸ゆかりの巨匠たち展

神戸は、今から約120年前の慶応3年の開港以来、海外からの文化が上陸する地として、特有の雰囲気をはぐくんで来た。この港町神戸から多くの芸術家が生まれている。神戸にゆかりの深い芸術家の足跡をたどり、神戸の文化風土を振り返ってみるため、本展を企画した。

日本画では橋本関雪、村上華岳、山下摩起、東山魁夷。洋画では金山平三、小磯良平、田村孝之介、林重義、長谷川三郎の諸氏が挙げられる。また、彫刻家では柳原義達、書家では安東聖空、版画家では川西英の諸氏が神戸にゆかりの深い芸術家と言える。

市制100周年をむかえるにあたり、本展によって神戸の町がたちかって来た文化や気風を感じとってもらうために本展を企画した。



※この図録は完売いたしました。



カーニュ城址
義



林重 鷺 山下摩起

会期／平成元年2月10日（土）～3月26日（日）

会場／特別展示室1・2、南蛮美術館、2階ギャラリー、ホールケース

主催／神戸市立博物館、神戸新聞社

後援／サンテレビジョン、ラジオ関西

協賛／UCC上島珈琲株式会社

開館日数／38日

入館者数／35, 943人

出品件数／203件